

2019年02月18日

街を森にかえる「W350計画」 「MIPIM AWARDS 2019」の最終候補に

住友林業株式会社(社長:市川 晃 本社:東京都千代田区)の「W350計画」が、世界の優れた不動産開発を表彰する「MIPIM AWARDS 2019」で「BEST FUTURA PROJECT」※1部門の最終候補に選ばれました。本計画は全体構想を住友林業が、象徴となる350mの木造建築物の設計を株式会社日建設計が担当しました。

MIPIM(Marché International des Professionnels de l'Immobilier=不動産プロフェッショナル国際マーケット会議)は、世界の不動産・建築関係者が一堂に会する世界最大の不動産見本市です。その中で開かれる「MIPIM AWARDS」は来場者の投票を含めた最終審査により部門ごとの最優秀賞を決め、革新性や偉業を成し遂げた優れた不動産開発として表彰しています。応募総数200件以上の中から最終候補に残った作品は全11部門で45件です。「W350計画」は「BEST FUTURA PROJECT」部門で最終候補の5件のうちの1つに選出されました。



「MIPIM 2019」はフランス南部のカヌで3月12日(火)から15日(金)まで開催され、デベロッパーや投資家、政府関係者など約100ヶ国から2万人以上が来場します。最優秀賞は3月14日に開催されるMIPIM AWARDS セレモニーで発表される予定です。

W350計画は1691(元禄4)年の創業から350周年を迎える2041年を目標に、高さ350mの木造超高層建築物を実現する研究技術開発構想です。高層建築物の木造化・木質化と街を森にかえる環境木化都市の実現をめざし、建築工法、環境配慮技術、使用部材や資源となる樹木の開発など未来技術で、人と社会、地球環境に貢献していく計画です。この計画は2018年2月に発表を行い、W350計画の要素技術を検証するフィールドとして筑波研究所の新実験棟の建築(2019年5月の完成予定)を機に応募いたしました。

応募ビデオ:https://sfc.jp/ie/movie/w350_plan_j.html

住友林業はこの「W350計画」を通じ、木材の再利用、人にやさしい都市づくり、林業の活性化などを実現し、街を森にかえる環境木化都市の構築をめざします。

※1「BEST FUTURA PROJECT」

建築、技術、環境面において、未来に革新的な影響を与えるようなプロジェクトを表彰する部門。

他の部門については右記URLご参照ください。

(<https://www.mipimawards.com/mipimawards2019/en/page/shortlist>)

以上

《リリースに関するお問い合わせ》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション部 真鍋・佐藤

TEL:03-3214-2270